

スポーツ産業新報

THE SPORTS INDUSTRY NEWS

昭和23年4月10日 第3種郵便物認可 毎月1・10・20日発行

隈 研吾
×
モンチュラ

チャリティプロジェクト始動

MONTURA

刺子柄(左デザイン)にもなったブランドロゴ



刺子柄(左デザイン)を着る隈研吾氏と
モンチュラの佐藤末季氏

刺子柄
デザイン
スタッフ
と
隈研吾
氏
佐藤末季
氏

デザイン
主導して
お

モント
ベルト・
・ジヨルダ
と出合
こと。

今回のプロジェクトの
発端は、隈氏がイタリア
環境アートの聖地である
北イタリアの屋外美術館
「アルテ・セラ」における
彫刻作品「Kodam
a」制作発表の際に、モ
ンチュラ創業者であるロ
ベルト・ジヨルダーニ氏
と出合ったこと。

モント
ベルト・
・ジヨルダ
と出合
こと。

発行所
株式会社日本運動興新報社
東京本社／〒111 東京都台東区浅草橋2-7-1
-0053 村崎ビル 2F
電話 (03) 3861-6722 (代表)
FAX (03) 3861-6600
E-mail: shinpou@fine.ocn.ne.jp
大阪支局／〒584 和泉市いぶき野3-2-9-301
-0041 電話 (0725) 90-6660
銀行人 柴田 廣志 賃料／1ヶ月22,000円
振替口座 東京5-25923番 (本体価格20,000円)

南三陸とモンゴル連帯 伝統技術+最先端革新技術

「刺子ジャケット2021」

世界的な建築家である隈研吾氏とイタリアのアウトドアブランド「Montura (モンチュラ)」は、チャリティプロジェクト「刺子ジャケット2021」を始動、11月9日に角川武蔵野ミュージアムで発表した。隈氏デザインのジャケットを同日から約一ヵ月間、国内で受注販売し、その収益をNPO法人Women's Eye (WE)へ寄付する。同ジャケットはヨーロッパでも販売。収益はモンチュラが主導するモンゴルへのチャリティプロジェクトに寄付され、世界的にプロジェクトが進んでいく。

「全体が繊細で、保温性・強度も増し機能的にも問題ない。デザイン自体が現代的。以前から興味があり、今回デザイン

隈氏は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の復興支援に収益を隈氏が携わってきました。

隈氏がイタリアの聖地である環境アートの聖地である北イタリアの屋外美術館「アルテ・セラ」における彫刻作品「Kodama」制作発表の際に、モント
ベルト・ジヨルダーニ氏と出合ったこと。

モント
ベルト・
・ジヨルダ
と出合
こと。

女性支援視点に 世界規模で実施

技術は17世紀、農家や漁師の家の女性たちが開発したもの。伝統的には藍色の布地に白い綿糸で刺しゅうを施し、シンプルさと経済性に適った優雅な

ジャケットでは、黒地にグレーのステッチを施し、シンプルさを与える。今回の刺子ジャケットでは、黒地にグレーのステッチを施し、シンプルさを与える。

刺子ジャケット2021は、刺子のスルクパネル「TARO N I」を、ジャケット外

側のアクセントラインと柔らかな印象に仕上げた。

キャラメル織維および再生ボリエヌールを使用し

た特別なパディング「CAMELUXE」は、特

に環境問題に注視しながら、世界規模で進めてい

く。

「刺子ジャケット2021」に関する隈氏の考

えは、優雅でありながら

「女性と女の相

互いに助け合い」の精神を象徴しており、今回もそれを実現するため、前回のプロジェクトに引き続き、モント
ベルト・ジヨルダーニ氏が競技場を設計した東京五輪の開催年に、生産

数限定のスベシャルジャケットをデサインし、社員が競技場を設計した東京五輪の開催年に、生産

数限定のスベシャルジャケットをデサインし、社員が競技場を設計した東京五輪の開催年に、生産